

平成20年度社団法人秋田県臨床検査技師会 第2回通常総会 議事録

日時：平成21年3月14日（土） 午後2時～3時30分
場所：秋田県生涯学習センター分館 ジョイナス 研修室3

議事

1 開会の辞

宮野勇徳事務局長が、平成20年度社団法人秋田県臨床検査技師会第2回通常総会の開会宣言をした。

2 議長選出

議長の選出について、執行部一任の承認を得たので、宮野勇徳事務局長が、黒木悟氏（由利組合総合病院）、内藤敬次氏（雄勝中央病院）を提案、異議なく承認された。

3 議長挨拶

黒木悟氏・内藤啓次氏は議長就任の挨拶後、議事進行を開始した。

4 総会役員選出

総会役員については、議長一任とする提案がなされた。議長が次の役員を指名して、異議なく拍手によって承認された。

- (1) 資格審査委員 3名（出席者2名・理事1名）
 - 岩谷 幸栄氏（理事）（秋田労災病院）
 - 関谷 智理氏（成人病医療センター）
 - 武石 茂美氏（平鹿組合総合病院）
- (2) 議事運営委員 3名（出席者2名・理事1名）
 - 伊藤 優子氏（理事）（秋田組合総合病院）
 - 浅野 卓志氏（能代山本医師会病院）
 - 藤田 秀文氏（仙北組合総合病院）
- (3) 書記 2名
 - 市川 聡氏（大館市立総合病院）
 - 鈴木 恵美子氏（由利組合総合病院）
- (4) 議事録署名人 2名
 - 山内 史郎氏（中通総合病院）
 - 金田 深樹氏（市立秋田総合病院）

5 資格審査委員報告

岩谷幸栄氏が総会規定第4条により、定款第4章第23条の定足数を満たしており、総会は成立する事を報告。これに関し異議なく承認された。

正会員数 609名（3月10日現在）
出席正会員数 43名
委任状提出者数 448名
内訳 代理人指定の委任状数 140名
代理人指定のない委任状数 308名
書面表決書提出者数 0名

6 議事運営委員報告

伊藤優子氏が議事の時間設定を提案し、協力の依頼があった。これに関し異議なく承

認された。

第1号議案	平成21年度事業計画案	15分
第2号議案	平成21年度収支予算案	15分
第3号議案	精度管理事業の再編について	10分
第4号議案	平成21・22年度役員改正案	10分
閉会時間	3時30分頃予定	

7 会長挨拶

菅原博之会長は会員に対し、平成20年度社団法人秋田県臨床検査技師会第2回通常総会への出席に対する謝辞ならびに議案についての質問、アドバイスを戴きたい旨を話された。

平成20年度を振り返り5月予算総会、各種研修会・講習会、9月新人教育研修会、11月県学会、1月福利厚生事業・月例サーベイ報告会、2月代表者会議・精度管理委員会、3月決算総会等が行われ無事に終了出来た事に対して、謝辞を述べられた。

平成21年度の事業については、6月日本臨床衛生検査技師会生物化学分析部門研修会、10月東北医学検査学会が行われるので、会員の参加及び協力をお願いされた。

役員改正、来年度の事業計画、予算について審議頂きたい。総会が有意義に終了する為に、会員の活発な質疑をお願いしたいと述べられた。

8 議案審議

議案書の訂正について

議案書の2ページ

追加 精度保証事業
④データ共有化事業

議案書の4ページ

誤 ①第50回 東北医学検査学会
開催期間：平成21年10月30日（土）
～平成21年11月1日（日）

訂正 ①第50回 東北医学検査学会
開催期間：平成21年10月31日（土）
～平成21年11月1日（日）

誤 ③平成21年度東北臨床検査技師会生物化学分析査門別研修会

訂正 ③平成21年度東北臨床検査技師会生物化学分析部門別研修会

議案書の6ページ

誤 至 平成21年3月31日

訂正 至 平成22年3月31日

議案書の7ページ

誤 至 平成21年3月31日

訂正 至 平成22年3月31日

(1) 第1号議案 平成21年度事業計画案

議案書に基づき、報告があった。

方針 宮野勇徳事務局長

通常総会 宮野勇徳事務局長

事業

出版事業 阿部毅副会長

啓発普及事業 阿部毅副会長

講演会事業 阿部毅副会長

福利厚生事業 畠山義彦副会長
精度保証事業 三浦徹学術部長

補足説明 三浦徹学術部長

データ共有化事業の今後の運営の仕方について後日報告する。

検査研修会事業 三浦徹学術部長

東北臨床検査技師会関係 宮野勇徳事務局長

補足説明 阿部毅準備委員長

第50回東北医学検査学会の進捗状況とこれからの活動内容について

開催期間：平成21年10月31日（土）～平成21年11月1日（日）

開催場所：秋田市 アトリオンビル（メイン会場・11会場）

秋田ビューホテル（サブ会場・1会場）

テーマ：「つむぐ」（メインタイトル）

学ぶべき先例の継承と現在の医療技術を織り交ぜ未来への一步を踏み出す

「五十年の輝ける軌跡と未来への一步」（サブタイトル）

開催内容：学会式典、一般演題（80題位）、シンポジウム、レクチャー、フォーラム、公開講演、情報交換会を予定。

県内からも多数の一般演題参加をお願いします。

公開講演は、中村征夫氏（写真家）、遠藤章氏（応用物理学者）を予定。

県民への啓発活動として「健康まつり」を併設予定。

学会の抄録について

第50回記念誌としての内容を強めた編集を行っていて、掲載内容が増える事が予想されるのでA4版になる。

記念的な掲載事項として、各県の技師会の沿革、日臨技・東臨技及び各県の技師会長からの寄稿文、東北医学検査学会の歴代表彰者を掲載予定。

アレルギー学会と同時期の開催となり聴講できる様になる。

学会懇親会参加費は、会員5,000円、非会員7,000円を予定。

情報交換会費は、5,000円を予定。

アレルギー学会聴講費は、500円を予定。

10月30日の宿泊は、技師会として近畿日本通リストに200部屋を確保してもらう予定。

10月31日、11月1日の宿泊は技師会では斡旋しない。

今後、学会実行委員会を組織して行きたい。学会実行委員会が出来たらアレルギー学会と詰めた話をしたい。

準備資金は、秋臨技の特別会計から2,000,000円を出してもらう予定。

学会実行委員も、学会懇親会参加費、情報交換会費は払ってもらう。後日、日当や弁当を提供したいと考えている。

記念学会なので、県内外からの会員の心に残る学会となるようにしたい。

(社) 日本臨床衛生検査技師会関係 宮野勇徳事務局長

補足説明 三浦徹学術部長

平成21年度日本臨床衛生検査技師会生物化学分析部門研修会について

開催期間：平成21年6月27日（土）～平成21年6月28日（日）

開催場所：秋田市

秋田県生涯学習センター分館ジョイナス3階 大研修室

テーマ：信頼性のあるデータを、自身を持って報告するための対策法

開催内容：腎疾患と臨床検査

筑波大学臨床医学系 山縣 邦弘氏

検査データの精度保証の在り方

筑波大学臨床医学系 桑 克彦氏

日臨技の標準化作業への取組み

日本大学医学部附属板橋病院 荒木 秀夫氏
自動分析装置はブラックボックスにあらず

日本大学医学部附属練馬光が丘病院 山館 周恒氏
自動分析装置はなぜ精密に測定できるのか

(株)日立ハイテクノロジーズ 茂手木 尚哉氏
効果的な精度管理の実践方法と管理図の作成法

筑波大学附属病院 飯塚 儀明氏

薬物血中濃度の測定意義と規制薬物検査

三菱化学メディエンス(株) 齋藤 修二氏

募集人員は80名ですが、まだ余裕がある。参加費10,000円。

備品の補充 宮野勇徳事務局長

補足説明 宮野勇徳事務局長

会計ソフト、パソコンを考えている。

以上の説明に関して議長が質問・意見を求めたが、特に発言はなく、採択の結果、満場一致で承認された。

(2) 第2号議案 平成21年度収支予算案について

平成21年度収入予算案 菊地孝哉収入会計担当理事

補足説明 菊地孝哉収入会計担当理事

今年度と来年度の特徴的な相違点を具体的に説明する。

東北学会開催の為、県学会は開催しないので事業収入の学会(1,000,000円)・会員参加費(300,000円)が減となっている。また雑収入の懇親会費が、県学会の懇親会がないことから、150,000円の減となっている。共有化収入の検査データ共有化も1,170,000円の減。これに対しては、第3号議案で説明する。

平成21年度支出予算案 高橋和則支出会計担当理事

補足説明 高橋和則支出会計担当理事

今年度と来年度の特徴的な相違点を具体的に説明する。

東北学会開催の為、県学会は開催しないので啓発普及費の検査展(300,000円)・県学会(1,400,000円)が減となっている。検査データ共有化委員会費も1,170,000円の減。これに対しては、第3号議案で説明する。

質問 館岡 均氏(秋田赤十字病院)

検査データ共有化が予算0円なのはなぜか?

答え

秋田県精度管理調査事業と検査データ標準化事業を、統合し精度保証事業部とする。よって事業部が立ち上がった時点で補正予算として提案したい。

質問 平澤 裕之氏(秋田大学医学部附属病院)

その補正予算はどこから持ってくるのか?

答え

従来の共有化サーベイは参加費をもらい運営していたので、また行う場合も参加費をもらい運営する。

採択の結果、満場一致で承認された。

(3) 第3号議案 精度管理事業の再編について

三浦徹学術部長より、議案書に基づき提案理由の説明があった。できるだけ

早いうちに会議を開いて、今年度のデータ共有化事業をどのように進めていくのか、担当業務の割り振りなどを決めたい。

以上の説明に対して議長が質問・意見を求めたが、特に発言はなく、採択の結果、満場一致で承認された。

(4) 第4号議案 平成21・22年度役員改正案について

原田誠三郎役員推薦委員長より、資料に基づき提案があった。今回は、県北から副会長を出す事ができなかった。県南から2名出してもらった。次回は、県北からも副会長を出してもらいたい。今回は新たな活力をもって技師会を前進させていく為に、新たな技師から役員を募りました。役員を決めるにあたり、職場の同僚からの理解と協力に謝辞が述べられた。

以上の説明に対して議長が質問・意見を求めたが、特に発言はなく、採択の結果、満場一致で承認された。

(5) その他の提出議案

議長より、その他の提出議案を求めたが、提出議案は無く、議事を終了した。

総会のまとめ 新阿部毅会長

新阿部毅会長及び今日出席している新役員の挨拶があった。新阿部毅会長より、役員推薦委員に対して謝辞が述べられた。次年度は、第50回東北医学検査学会があるので、実行委員会に今年度までの役員にも参加してもらいたい。それがメインテーマの「紡ぐ」に繋がるのではないか。この二年間頑張ってくださいるので、皆さんの支援と協力をお願いします。

9 総会役員解任

議長より総会役員解任が述べられた。

10 議長挨拶

協力に対する謝辞後、議長は議事終了を宣言した。

11 閉会の辞

畠山義彦副会長が、平成20年度社団法人秋田県臨床検査技師会第2回通常総会の閉会を宣言した。

社団法人 秋田県臨床検査技師会

議長 黒木 悟 (由利組合総合病院)

議長 内藤 啓次 (雄勝中央病院)

議事録署名人 山内 史郎 (中通総合病院)

議事録署名人 金田 深樹 (市立秋田総合病院)